

令和5年度 年末年始無災害運動実施要領

『健康と安全で 幸せつなぐ年末年始』



千葉県産業安全衛生会議

実施期間 令和5年12月1日～令和6年1月15日

1. 趣 旨

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるようにという趣旨で、昭和46年から厚生労働省の後援のもと中央労働災害防止協会が主唱する全国的な運動です。千葉県内では、千葉労働局、各労働基準監督署及び千葉県産業安全衛生会議（構成機関）が運動を展開しています。

職場の安全と健康を確保するためには、経営者、労働者が一丸となって安全衛生活動を推進し、災害のない職場環境を整えるためにも、一つひとつの作業を丁寧に確認し、次の作業に備えること、そして体調管理を万全にし、無理をしないことが大切です。

千葉県の労働災害は長期的には減少傾向にある中で、本年9月末までの労働災害発生状況（新型コロナウイルス感染症による労働災害を除く）において、死亡者数は17人と前年同期比で2人の減少となっているものの、建設業で7人と多くを占め、また製造業でも3人と昨年1年間の死者数を上回っている現状です。また、休業4日以上死傷者数は、前年同期に比べて全体で3.3%減少しており、業種別では建設業で11.7%、運輸貨物取扱業で5.0%の減少となっている一方で、旅館業で38.2%増加しているのを始めとして、医療保健業で16.2%、清掃・と畜業で13.2%の増と、第三次産業の業種では増加しています。

こうした状況の中で、特に年末年始は慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害、凍結や積雪による転倒等の危険が増します。各事業場においては、非定常作業における安全確認の徹底、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、安全衛生保護具の点検の実施、感染症予防を含めた労働者の健康状態の確認などに全員で取り組むことが一層重要となります。皆で力を合わせて無事に一年を締めくくり、明るい新年を迎えられるよう、安全・健康への思いを新たに、次の標語をもって本年度の年末年始無災害運動を展開することとします。

『健康と安全で 幸せつなぐ年末年始』

2. 事業場の実施事項

(1) 年末年始に実施する事項

- ① 経営トップによる安全衛生方針の決意表明
- ② 安全衛生パトロールの実施
- ③ 機械設備に係る一斉検査および作業前点検の実施
- ④ 年末時期の大掃除等を契機とした5Sの徹底、掲示や旗の掲げ替え
- ⑤ 年始時期の作業再開時の安全確認の徹底
- ⑥ 年末年始無災害運動用ポスター、のぼり等の掲示

(2) 年末年始に実施状況を確認する事項

- ① KY（危険予知）活動を活用した非定常作業における労働災害防止対策の徹底
- ② 安全保護具・労働衛生保護具、安全標識・表示等の点検と整備・更新
- ③ 化学物質のリスクアセスメントの実施を含めた化学物質管理の徹底
- ④ 転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
- ⑤ 火気の点検、確認などの火気管理の徹底
- ⑥ 交通労働災害防止対策の推進
- ⑦ 過重労働をしない・させない職場環境づくり
- ⑧ 健康的な生活習慣（睡眠・食事・運動等）に関する健康指導などの実施
- ⑨ 感染症拡大防止対策の徹底
- ⑩ 職場のハラスメント防止につながる取り組みの推進
- ⑪ 自然災害等に伴う復旧・復興工事等における労働災害防止対策の推進
- ⑫ 安全衛生旗の掲揚、その他安全衛生意識高揚のための活動の実施

構成機関

千葉県労働局
千葉県
(公社)千葉県労働基準協会連合会
建設業労働災害防止協会千葉県支部
陸上貨物運送事業労働災害防止協会千葉県支部
港湾貨物運送事業労働災害防止協会千葉総支部
林業・木材製造業労働災害防止協会千葉県支部
(一社)千葉県経営者協会

千葉県中小企業団体中央会
(一社)日本クレーン協会千葉支部
(一社)日本ボイラ協会千葉支部
(公社)建設荷役車両安全技術協会千葉県支部
(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会千葉支部
千葉産業保健総合支援センター
日本労働組合総連合会千葉県連合会